

佐賀大学

電子計算機センターニュース

NO. 28

佐賀大学

電子計算機センター

58年6月29日

1. 計算機使用料金値下げのお知らせ
2. 計算機の時間外使用について
3. 利用者講習会のお知らせ
4. 新規に登録システムライブラリについて
5. システム保守作業に伴う計算サービスの一時停止について

1. 計算機利用料金値下げのお知らせ

電子計算機センターでは、当センターの計算機をより多くの教職員、学生の皆さんに利用して頂くよう7月1日から使用料金を値下げするにしました(表1)。

つまり、ローカルバッチジョブ(注1)の基本料金を現在の50円から40円にした。他、長時間ジョブの単位時間当りの料金の値下げをしました。この結果、九大大型計算機の現行料金より大幅に安くなるばかりでなく、近く予想される九大大型計算機のレベルアップに伴う実質的な値下げ(注2)に対しても長時間に渡ってCPUを占有するジョブでない限り、当センターの計算機を利用した方が安くなるはずです(表2)。

(注1) 当センター内(ローカル)で、当センターの計算機システムを従って、カード入力等により一括処理(バッチ)するジョブのこと。

(注2) 九大の大型計算機は8月から現在のFACOM M-200に代ってFACOM M-382が導入され、処理能力は向上するものの、単位時間あたりの使用料金はあまり変わらず、実質的な値下げがおこなわれる見込みです。

表1. 計算機使用料金表

区 分		料 金	
		新料金(7月~9月)	旧 料 金
基本負担金	ローカルバッチジョブ	40円/JOB	50円/JOB
	リモートバッチジョブ	250円/JOB	同 左
	A I F 学生演習	無 料 無 料	〃 〃
演算負担金	5分まで	1円/2秒	} 1円/2秒
	5分以上 10分まで	1円/4秒	
	10分以上	1円/6秒	
入出力負担金	カード入力	1円/10枚	同 左
	プリンタ出力	4円/枚	〃
	フロッピーディスク 磁気テープ 紙テープ	} 30円/JOB	〃
	XYプロット		30円/JOB 1円/1,000ドット 3円/10cm
I/F 端末使用料金		3円/1分	同 左
オフラインカード穿孔サービス		3円/1枚	同 左

表2. 新料金と九大大型計算機センターへのRES(リモートバッチジョブ) 利用料金の比較

(c)は九大の新システムM-382と現M-200の2.5倍の処理速度
 があり単位時間当たりのCPU使用料金が据置か13との仮定の下で
 計算した。(a)は九大の現料金を、(b)は速度の20倍と仮定、(c)は速度の50倍と仮定
 (注) 九大(現料金) 九大(現料金) 九大(予想される新料金)

ジョブ区分	九大(現料金)				九大(現料金)			九大(予想される新料金)		
	分	秒	CPU料金	合計料金	秒	CPU料金	合計料金	秒	CPU料金	合計料金
Bジョブ	10	600	225円	265円	30	180円	430円	12	72円	322円
Cジョブ	20	1200	325	365	60	360	610	24	144	394
	30	1800	425	465	90	540	790	36	216	466
	40	2400	525	565	120	720	970	48	288	538
Dジョブ	60	3600	725	765	180	1080	1330	72	432	682
	120	7200	1325	1365	360	1980	2230	144	864	1114

2. 計算機の時間外使用について

7月から計算機の時間外使用サービスを開始します。これは毎年12月～2月に行っている時間延長サービスと違って、申し込み制になり、許可された方が計算機を占有して使用して頂くものです。使用責任者は、当センターの課題登録を持つ本学の教職員で、時間外利用者講習会を受講し、電子計算機センター長の認可した人に限ります。

利用料金は原則として当センターの計算機使用料金としますが、その間のラインプリンタ用紙代(4円/枚)を除く使用料(A)が、使用した電気代(B: 約1,000円/時間)に達しない場合はその差額(B-A)を加算します。これは電気の無駄な使用を防ぐための措置であり、電気代節約に皆様のご協力をお願いいたします。

なお時間外利用者講習会は次項のとおり実施する予定です。

3. 利用者講習会の告知

当センターでは下記の講習会を開催予定です。

申込みおよび詳細の問い合わせはセンター窓口をどうぞ。

講習会名	時間外利用者	FORTRAN 入門	AI 入門
対象	当センターの計算機センターの時間外利用サービスに登録した本学の教職員	FORTRAN IV プログラマー経験者 (教職員・学生)	プログラマー 経験者 (教職員・学生)
日時	7月6日(水) 15:00～18:00	7月15日(金) 15:00～17:00	7月22日(金) 13:00～17:00
場所	電子計算機センター演習室		
テキスト	当センターで用意します	吉田他 「電子計算機と情報科学」 共立出版 ¥1,900	・佐賀大学電子計算機センター広報 Vol.3 ・富士通マニュアル「OSIV/α8 AIF コマンド使用法」(自習書)

4. 新規に登録されたライブラリについて

当センター「プログラムライブラリ内規」により開発中であつた下記ライブラリがこのほど完成し、当センターのライブラリに登録されたまゝにしてお知らせします。

プログラム名 : 曲げ系構造物の作図プログラム
作成者 : 理工学部 土木工学科 助教授 荒牧軍治
内 容 : 構造物の解析におけるテーマの一つとして骨組構造物がある。この計算は部材の数が多くなると計算がかわめて膨大になり、手計算の実行は困難となる。そのため部材数の少ないモデルのみについて演習を行っているが、実際構造物の力の分布を理解するのは困難である。学生が手軽に使用でき、その結果が図で示されるはその教育効果は非常に大きい。このプログラム開発は主として教育用を意図してゐるが、コンピュータの容量、マイプロセッサの性能等に余裕があれば実際問題への適用も可能である。

5. システム保守作業に伴う計算サービスの一時的停止について

当センターで稼働しているオペレーティングシステム FACOM OS IV/48 (計算機 FACOM M-150F を管理するためのプログラムの集合)の一部を修正 (バッチコンパイル) 作業のため 7月8日(金)～9日(土)の2日間 計算サービスを停止しておりますことご了承ください。

なおカードせん孔機は使用できまゝのご利用ください。